



竹ふえの自家源泉

竹ふえの自家源泉

温泉は大自然からいただいた恵であると共に大切な限りある資源でございます。竹ふえの館内26のお風呂は、自然の恵をそのままにすべて自家源泉かけ流しでございます。自家源泉をすべての露天風呂、内湯、足湯に直接引き、加水や加温、循環などを一切おこなってございません。

竹ふえの温泉温度設定

温泉につかり、お湯が熱いと感じたことはございませんか？
お湯がぬるいと感じたことはございませんか？

竹ふえの源泉泉温は68.1度でございます。源泉100%かけ流しを行い、加水・加温を一切行わずに温泉温度を管理することは容易ではございません。竹ふえでは“湯番頭”が毎日全てのお風呂の清掃を行い、源泉の状態・その日の天候や気温によって、蛇口から出る湯量を調整し、温泉温度を季節によって違う「竹ふえの設定温度」になるよう日々努力してございます。しかし、温泉の温度管理は大変難しく、時にはお客様が熱いと感じたり、ぬるいと感じたりすることがあるかと存じます。そこで竹ふえでは、各お風呂に温泉バルブを設置いたしました。温泉バルブでは、熱いときは水色のバルブをひねり「竹林水」を、ぬるいときは赤色のバルブをひねり「竹ふえの源泉」をお風呂に足し、ご調整ください。

【水色:竹林水、赤色:源泉】

※温泉バルブの設置がないお風呂もございます。その際はお気軽にフロントまでご連絡ください。

竹ふえの設定温度 春:42度 夏:41度 秋:42度 冬:43度

日本一の地下水地域「熊本」

地下の天然水のみで暮らせる熊本地域は日本一の地下水地域といわれており、熊本市内の公共用水は100%地下水を利用してございます。またその中でも竹ふえがある阿蘇は中九州の水瓶といわれております。

阿蘇は、世界最大級のカルデラ火山でございます。中央に五岳がそびえ、まわりを外輪山が取り囲みます。阿蘇のカルデラ形成に関係した火山活動は、およそ30万年前に遡り、その後約20万年間の間に、4回の大噴火を繰り返しました。その爆発は火碎流と呼ばれる噴火で、大量に吐き出された軽石や火山灰層は堆積物となり、北部中九州をすっぽりと覆いました。厚く積もった火山灰層は水を通しやすい地層を形成し、天然のフィルターとなり、現代の阿蘇に日本一の地下水をもたらしました。

竹ふえの自家水源「竹林水」

竹ふえがございます地域は、標高約700mに位置し、阿蘇を代表する白川水源、けやき水源、池山水源などの豊かな水源に囲まれ、特に白川水源は日本の名水百選にも選ばれている湧水でございます。竹ふえ敷地内から湧き出る湧き水を当旅館では“竹林水”と呼び、“竹林水”は保険所検査で許可いただいた飲料水でございます。水質検査の結果、竹林水はpH6.6の弱酸性、硬度26.1mg/lの軟水で極めて不純物が少なく、おいしくお召し上がりいただけます。竹ふえでは全てのお水に“竹林水”を使用しております。



竹ふえの自家水源